

## 橋をつくったのはこの俺だ

トム・パクストン/詞 高石ともや/訳詞

アメリカのフォーク歌手トム・パクストン作曲。1960年代から日本のフォークソングの基盤を作ってきた高石ともやの訳詞で、「国の主人公は一人ひとりの労働者であり、自分たちがこの国をつくってきたのだ」と誇り高く歌い上げている。

※橋をつくったのは この俺だ  
道路をつくったのも この俺だ  
強いこの腕と この身体で  
この国をつくったのは俺たちだ

## 航 路

A.チュルキン/詞 関 鑑子/訳詞

原題「波止場の夜」。作者ソロヴィヨフニセドイは旧ソ連の大衆作曲家。幅広い音楽形式を取り入れた民族性豊かな作品で人気を博した。「モスクワ郊外のタベ」でも知られている。

いざ歌わん 声高く

明日は友の船出

いざ歌わん 声高く

船路 幸あれと

※船路 幸あれ

霧深き海よ

別れゆく ふるさとの

青きプラトーク\* 青く

(\* 頭や肩・首に巻くショール)

勇みゆく友 なつかし

思い出 いや深い

誓い込め いざ歌わん

セドイ ボエボイ カピタン\*

(\*白髪の闘士船長)

※くり返し

夜の波止場 霧立ちこめ

はるか船路 静か

岸辺うつ 波なぎて

バヤンの調べ かすか

※くり返し

昔昔の俺たちのこと  
くらい森を 切りひらき  
はたけをたがやし 家を建てて  
この国をつくったのは 俺たちだ  
※くり返し  
俺の先祖や 子孫には  
えらいやつなど 一人もいない  
でも石炭掘って 町をつくり  
この国をつくったのは 俺たちだ  
※くり返し

誰がこの国を つくったのか  
えらい社長さんや 代議士さんが  
命令したから 出来たわけじゃない  
俺たちがいたから 出来たのだ  
※くり返し  
つくっているのは 俺たちさ  
動かしてあるのも 俺たちさ  
歌っているのも 俺たちさ  
この国をつくるのは 俺たちだ  
※くり返し

## 朝 露

金 敏基/詞 小林康治/訳詞

この歌は 1971年に韓国で作られ、当時の朴正熙大統領の軍事独裁政権打倒に命をかける決意を表した歌と言われ、1975年には「禁止歌」となり歌ったら有罪とされた。1980年の光州事件では学生達に広く歌われ、韓国民主化運動を力強く励ました。

夜が明けた 草の葉には  
真珠より美しい 朝露がある  
そのしづくに 宿る痛み  
丘の墓地に行く 涙こらえて

太陽は墓地の上に浮かび  
赤く照らされる 苦しみのあと  
私は行く この荒れ野を  
悲しみ乗り越え 私は行く  
(韓国語の歌詞省略)

## S I YAHAMBA

South African Folk Song 男声合唱団「昴」/日本語詞

～われらは進みゆく～

南アフリカズールー語の民謡から生まれた曲で、キリスト教の賛美歌として世界各地に広まった。ネルソン・マンデラが取り組んだアパルトヘイト撤廃等、様々な民衆運動の場でもよく歌われている。S I YAHAMBAは「我々は行進する」といった意味である。

前奏省略 (※をそれぞれ2回繰り返す)

※ Siyahamb 'eku' khanyeni kwenkos.

Siyahamb 'e kukhanyeni kwenkos.

※ Siyahamba, hamba, hamba, oh,

Siyahamb 'e kukhanyeni kwenkos.

※ シヤハンバ 歌おうよ

さあ みんなで歌おうよ

※ さあ夢を 夢を 夢を oh

さあ 陽気に歌おうよ

※ シヤハンバ 手をつなごう

さあ みんなで手をつなごう

※ さあ強く 強く 強く oh  
さあ 手と手をつなごうよ

※ シヤハンバ 進もうよ

さあ みんなで進もうよ

※ さあ前へ 前へ 前へ oh  
さあ 元気に進もうよ

※ Siyahamba, hamba, hamba, oh,  
Siyahamb 'e kukhanyeni kwenkos.

Siyahamb 'e kukhanyeni kwenkos.

Siyahamb 'e kukhanyeni kwenkos.